

企業も地域も参加して、みんな若者の出会いと結婚を応援しようと、静岡県焼津市は今年度から「出会い・結婚サポート事業」を始めた。10月24日に開催した第1回イベントでは10組のカップルが誕生し、「予想以上の成果」(同市政策企画課)を挙げた。同事業は「行政や企

業などが連携し、出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目なく若者を応援し、安心して定住できる街をめざす」と(同)という少子化対策の一環で、今年度はあと2回開催する。婚活支援を推進してきた公明党の鈴木浩己市議はこのほど、市の担当者から事業の成果などを聞いた。

# みんなで

静岡・焼津市

# 若者に「おせっかい」をしよう!

## 出会いと結婚を応援



出会い・結婚サポート事業について市の担当者から成果などを聞く鈴木市議(白)

### 公明市議が早期実施を提案

第1回のイベントは、ファッションデザイナーの桂由美さんによる「新しい自分発見セミナー」が市文化会館で、「ライトアップパーティー(飲食なし)」が市内のレストランでそれぞれ開催された。セミナーには独身者のほか、家族や企業の人事担当者らも含めて61人が出席。定員60人のパーティーには事前に120

人を超す応募があったが、男女ともに約40人ずつの参加となった。ゲームなどを通して交流を深めた結果、その場で10組のカップルが誕生。市が目標にしていた「3回のイベントで10組」を1回で達成した。10組には記念に「カップル証明書」が交付された。

## 第1回イベントで10組のカップル誕生

### 企業・地域参加型の仕組みめざす

成果を挙げた要因について、市の担当者は「参加者に『行政が関わっている』という安心感が強く、『アンケートで、ほぼ全員が『行政の支援が必要』と回答』、他のイベントと比べて女性や個人参加が多かったの全員が30〜40代前半で、真剣に交際相手を探していた」などを挙げた。



セミナーで講演するファッションデザイナーの桂さん(右から2人目)【写真提供=焼津市】



出会いイベントのパーティーで交流する参加者ら【写真提供=焼津市】

性、「こうした機会をもっと増やしてほしい」(男性)など好評がうかがえる。今後の予定は、第2回イベントを12月20日に開催。「あいのり(ミニバスツアー) 旬な体験焼津編」と題し、男女でミカン狩りやディスカバーパーク焼津などのデートスポットを巡る。

調査では、30人以下の小規模事業所が8割に上り、男女比の偏り(男性が圧倒的に多い)、長時間労働の慢性化などで異性と出会うチャンスが少ない実態が浮かび上がった。従業員からは「安心して参加できるイベントや交流の場をつくってほしい」との声が多く寄せられた。

そこで、出会いの場をつくるなら企業を巻き込み、みんなで若者に「おせっかい」をしよう、出会い・結婚から子育てまで支援する仕組みを構築することになった。これによって「企業の意識が変わり、ワークライフ・バランスの推進にもつながれば」(市政策企画課との期待も込めた。今回のイベントも、企画・運営やPR活動は市から委嘱を受けたNPO法人が担った。誕生したカップルは今後5年間フォローしていくという「おせっかい」ぶりだ。また、イベントに協賛した企業も20社に上り、10組の男女はカップル証明書を提示すれば、それぞれの企業でさまざまなサービスを受けられる。

同市では今後、企業やNPOがより主体的に支援に関わる仕組みに移行していく計画で、具体的には焼津商工会議所内に「サポートセンター」を設置し、企業の意識高揚や支援員(おせっかい役)の育成、企業間連携による出会いの場づくりなどを推進していく。婚活支援については、鈴木市議が2007年2月と13年11月の定例会で質問し、「晩婚化や未婚率の上昇に歯止めをかける」入り口部分の対策こそ効果的な少子化対策だ」と早期実施を提案するなど、積極的に推進してきた。

公明党香川県本部女性委員 大山司長は、妊娠から育一世代まで生活支援センター(日一)、子どもたちの未来を一人でも強く、要望の実一でいく一と決意を述べてハ